

国際交流サロン

11月の「世界の民話と昔話」は、イスラエルの『ソロモン王とシバの女王』です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国 イスラエル

民話／昔話 ソロモン王とシバの女王

ストーリー シバの女王は、ソロモン王の知恵を試そうと、ラクダに香料や、金や宝石を積んで、供の者を従えエルサレムにやって来ました。王は女王が出したすべての難問に見事に答えて、女王を宮殿で歓待しました。

水晶の床の大広間の食卓には、山海の珍味のご馳走が並べられ、大勢の家来や従者に酌をされてもてなされた女王は、その豪華さに目をみはるばかりでした。

「王様の知恵とお国の繁栄ぶりは、聞きしに勝っております。国民や家来はさぞご満悦のことでしょう」と、女王はソロモン王を称賛して、息が止まるほど魅せられてしまいました。

シバの女王はソロモン王と結婚して懐妊すると、王には告げずにシバの国に帰って行きました。

話が伝わった経緯 紀元前10世紀のソロモン王の名声を称え語り伝えられたヘブライの神話です。現在は旧約聖書の列王記第10章に登場する物語です。エチオピアではシバの女王が生んだ王子がエチオピアの初代の王様になったと語り継がれています。

【問合せ】 一般社団法人 笠間市国際交流協会
Tel.090-2761-8711 (木村 美枝子)

..... 12月の国際交流情報

「世界に語ろう笠間の民話」研修会

日時：12月5日(土) 午後1時30分～3時

場所：笠間稲荷神社 小会議室

常陸国風土記には三瓶神社(飯田)にまつわる話が語られています。高野一成さんが所有する三瓶神社由緒が書かれた古文書と古地図を教材に、地域の古代史の背景や周辺の史跡について勉強します。

対象：高校生以上で興味のある方。

定員：15名(先着順)

資料代：500円

申込方法：11月28日(土)までに電話でお申し込みください。

☆12月の日本語教室の開講日

12月5日(土)・12日(土)・

19日(土)(友部公民館

午前10時～)

※外国人相談も受け付けています。

笠間市国際交流協会
創立20周年記念大会



市長コラム

新嘗祭 穀献納式

にいなめさい
宮中祭祀の一つに、五穀豊穡を神々に感謝する新嘗祭があります。毎年11月23日に天皇陛下が、皇居の神嘉殿において新穀を天地の神々にお供えになり、神恩を感謝された後、陛下自らもお召し上がりになる宮中恒例祭典の中で最も重要なものです。その祭典でお供えする米と粟を各都道府県から選ばれた農家が天皇陛下に献納する穀穀献納式が、皇居内において行われます。

した。

今年の本県代表は笠間市であり、去る10月23日に行われた東日本15都道府県の穀穀献納式には、米の献納者として生駒敏文さんが、粟の献納者として深谷章さんが、それぞれ御夫婦で参列され、私と県の職員も同行いたしました。

献納の後、式の最後には天皇皇后両陛下がお出ましになり、労いと励ましのお言葉をいただきました。緊張と感激の中、両御夫妻とも大役を果たされておりました。

式を通じて、宮中祭祀の歴史的重みを感じるとともに、農産物の産地として天の恵みに感謝することを感じた1日でありました。

笠間市長

山口伸樹

▲ 献穀者ご夫妻と賢所参集所にて

